

公開文書

「小児死亡事例に関する登録・検証システムの確立に向けた実現可能性の検証に関する全国版後方視的調査」に対する臨床データの研究利用に関するお願い

【研究の概要・背景】

諸外国では子どもが亡くなった際に、その詳細な検討を各機関で行い、同様の死亡が新たに発生することを予防するための知見を蓄積する制度（チャイルド・デス・レビュー〔CDR〕）が整っています。この研究は、本邦でそのような制度を整備していくため、2012年に日本小児科学会で行った地域限定のパイロット研究の方法論を改良して、広く全国規模で情報収集を行い、その有効性を検証し、本邦でCDRが社会実装可能であるか検証することを目的としています。

【試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）】

下記対象となるお子様の性別、年齢、生活歴、家族歴、出生歴、既往歴、死亡に至った傷病名、現病歴、救急搬送にまつわる状況、蘇生を含む治療内容、各種検査結果、剖検結果などの各種医療情報、養育と死亡の因果関係、死亡が予防できた可能性とそのための方策

【対象者・期間】

2014年1月1日から2016年12月31日までの期間に当院でお亡くなりになった18歳未満のお子様を対象にします。

【データ利用のお願いと申し出について】

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、新たな負担はありません。また、個人を特定できるようなデータ（お名前、住所、電話番号、当院ID番号等）を使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、不利益を受けることは一切ありません。

【他の医療機関および各施設の責任研究者】

日本赤十字社 前橋赤十字病院 溝口 史剛
名古屋大学医学部付属病院 救急科 沼口 敦
群馬大学付属病院 小児科 滝沢 琢己
国保旭中央病院 小児科 仙田 昌義
北九州市立八幡病院 小児科 神蘭 淳司
鹿児島大学病院 小児科 根路銘 安仁
長岡赤十字病院 小児科 田中 篤 ほか

【本研究の資金源（利益相反）】

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

【情報の管理について責任を有するもの】

新潟県立新発田病院小児科 松永 雅道

【お問い合わせ先】

新潟県立新発田病院小児科 松永 雅道
新潟県立新発田病院 0254-22-3121